

平成30年度 第1回四條畷市男女共同参画審議会 会議録

1. 日 時 : 平成30年8月29日(水)

10時00分～12時00分

2. 場 所 : 四條畷市役所本館3階 委員会室

3. 出席者 : (委 員) 13名

細見三英子委員(会長)、リングホーファー・マンフレッド委員(副会長)、
瓜生照代委員、藤本美佐子委員、大川泰生委員、鹿海由利子委員、
上村卓史委員、山崎譲委員、平山明子委員、岡本尚子委員、笹次直子委員、
巢之内啓子委員、奥村博委員 ※順不同

欠席者 : (委 員) 2名

木下みゆき委員、佐々木興子委員

(傍 聴) 0名

(事務局) 4名

山本市民生活部長、吉田人権・市民相談課長、西村人権・市民相談課主任、
谷田人権・市民相談課臨時職員(記録担当)

4. 主な審議案件

(1) 第2次四條畷市男女共同参画推進計画(第2次なわてあじさいプラン)の進捗状況の
報告について

(2) その他

5. 配布資料

(1) 次第

(2) 第2次四條畷市男女共同参画推進計画に係る平成29年度実績報告書

(3) 四條畷市男女共同参画審議会委員名簿

(4) 男女川柳歴代入賞者作品まとめ

会長

本日の資料と案件について、説明をお願いしたいと思います。

事務局

<説明>

(1) 第2次四條畷市男女共同参画推進計画（第2次なわてあじさいプラン）の進捗状況の報告について

事務局

「各種委員会等の女性委員」について、農業委員会備考欄で推薦枠が4名となっていますが、平成29年から推薦枠はありません。備考欄を消して、訂正をお願いします。

会長

農業委員は14名人定員数のうち女性は1名ですね。

副会長

資料を見て、基本的な質問です。職員全体の男女比率はどうなっているか教えてください。資料にあるのは委員数の比率で職員全体ではありません。努力しても人材がないこともあります。全体の市の職員の男女比率を知りたいです。次回でもいいです。

会長

第2次なわてあじさいプランを出したときと、現在と若干変わってくるのか確認が必要です。

事務局

次回に報告します。

副会長

毎回お願いしていますが、それぞれの催しの参加人数を少なくとも出してください。参加者が少ないということには市民が興味ない、広報がたりないなどの理由があります。催しにより出したり出さなかったりすると、人数を出していない回は参加人数が少ないのではと疑ってしまいます。【1. 主要施策ごとの実績について（1-1）子どもの時からの男女平等教育の推進】に大阪府と共催と記載されていますが、どうにかたちの共催ですか。

事務局

昨年2回大阪府と共催をしました。1つは講演会で1つは男女共同参画連続講座です。講演会は互いに支出し連続講座は大阪府が支出しました。大阪府人権局のスタッフと一緒に連続講座の企画・準備・運営をしました。

副会長

大阪府と四條畷市だけですか？他の市とはありますか？

事務局

昨年度は大阪府と四條畷市だけです。地域教育課は聞かないと分かりません。

副会長

【1. 主要施策ごとの実績について（3-3）健康の保持・増進】に保健センターが妊婦への面接や相談等により知識の普及や子育て不安の解消を行い、またチラシやポスターを配置し情報提供を行ったとありますが、チラシやポスターの配置は、どうかたちで配置しましたか？

事務局

保健センターに確認しないと分かりません。通常は公共施設や駅のラックに入れたり、あと子育て関係の施設に置くと思います。

奥村委員

報告書を見て、非常に抽象的で具体性がありません。何かをして、その結果はどうかなど、やったことに対する検証や数値的な結果は必要だと思います。対外的に出すならこれでいいかもしれないが、審議会として議論するのであれば、具体的な数字、数値をあげるべきだと思います。【主要施策（1-1）子どもの時からの男女平等教育の推進 基本方向①就業前における男女共同参画の意識づくりの推進】で、学校教育課の回答に学力向上計画で平成27年から始まり平成29年に3ヶ年計画が終わったとありますが、その結果が書かれていません。数値目標をあげて具体的な結果や成果をこの報告書の中に表示して欲しい。

会長

今のご指摘のとおり、毎年実績報告を受けていますが、報告書の書き方をもう少し分かりやすくバージョンアップしていく必要があります。特によかった点を評価しているのはよいと思いますが、主要政策について、目標と実績が書かれていますが、実績を具体的に数字で表し、何月何日に何をしたのかや人は集まったのか等、分かりやすく書く方がいいです。目標と実績内容を際立たせたかたちで書体など変える工夫が必要です。いつ、どこで、何を、どうしたかというかたちにするとということです。来年度の報告書作成の際にして下さい。

笹次委員

それに関連して、パパママ教室についても、お父さんの参加人数や、土日が休みでない方もいるので何曜日に開催されて何人が参加したかを知りたいと思いました。

会長

そのようなことを知るためには、実績報告を作るときの聞き取りで、いつ、どこで等質問し、具体的に実績報告を書くようにすればいいのでは。

瓜生委員

審議会なので具体的なことが知りたいです。以前は各課の人が審議会に参加していましたが、どうしてやめたのですか。2～3年は続いていたと思います。

事務局

昨年は1回目の審議会で回答できなかったため、2回目の審議会でほぼ全課の課長が出席して回答しました。

瓜生委員

今年度もそのようにされますか？

事務局

質問を事務局が第2回審議会で回答する方法もありますが、各課の協力があれば出席可能です。

瓜生委員

この審議会は年間何回ですか。

事務局

2回です。

奥村委員

各課の課長、部長が出席し直接の質問を受けることで、その課や職員の意識改革ができます。文章提出で終わるのではなく、各課長が審議会に出席し直接質問を受けるとあやふやな返答ができません。どんな質問が出てくるか分からないがその場で答えてもらうシステムがいいのではないですか。

副会長

言いかえれば我々は市民の代表でがんばっているのに、現状を提供してくれないと市民は市役所を信用できません。どんなことをどこまでやっているか分かりません。責任は大きいです。

瓜生委員

審議会は2回です。同じことを繰り返してその場で解決できないのでは時間ももったいないです。前もって委員より質問を受付け、審議会で回答すれば時間の無駄がありません。今のかたちであれば時間がかかります。

副会長

3回審議会をしてもよいのではないのでしょうか。全員が出席して質問すると回答の時間がたりません。各部署半々で出席し、回数を増やした方が効率いいと思います。

会長

実績報告書を受けた時に事務局が担当課からしっかり聞き取りをし、その報告書を委員が見て、もう少し聞きたい担当課を事務局に伝え、その課には審議会に出席して回答してもらおう。あるいは事務局が聞き取り、審議会でも回答してもらおう。現状がわかりませんが、担当課に参加してもらおうのは難しいですか。

事務局

去年は全課対象に出席をお願いしました。ここ数年、審議会の2回目は出席をお願いしています。

奥村委員

実績の表示とそれへの対応と今後の方策や方法を同時に出してもらってはどうか。市役所も今後の対応について出しているので逃げられません。指摘されたことに真摯に向かっているかといふ点で。将来の方向や具体的な対応、対策も書いて市から出してもらう方向に持っていかれてはどうか。市も担当者が代わったなどの理由でいい加減な対応はできません。

会長

実績報告書を作成する前に、各課とコミュニケーションできますか？

事務局

はい。今年度も関係の深い課には2回目の審議会に出席してもらいたいと思います。

副会長

今日以外の質問はいつまでに事務局に提出すればいいですか。

事務局

10月に第2回審議会をするので、質問を9月半ば頃に事務局に出してもらえれば各課に依頼できます。

瓜生委員

報告書の数字だけでは分からないことがあります。親子向けの教室であれば父親の参加しやすい日にしたか、実際はどれだけ参加があったか、参加した人の反応等を聞きたいので担当課の出席は大事だと思います。今回興味を持ったことがあります。【主要施策（1－4）市の組織における男女共同参画の推進 基本方向②女性職員の能力発揮と管理職登用の推進】に「女性が能力を発揮することができるよう努めたが、職歴が浅いことからメンターとなる人材育成には取り組めない」書いてあり、こういうことを書いてくれるのは有難い。建設課に行っても女性の姿が目立ち、男性と同じように作業服を着ていて非常に頼りにしています。今後どうすればよいかと悩んでいる部分もあり、この場で一緒に考えて知恵が出るので担当課に出席してもらおうのは大事です。

会長

「人材育成には取り組めない」という報告について、私たちは何故取り組めないのか現場の状況を知り

たいと。次回の委員会でしますか。

瓜生委員

今回もそうなります。本当に忙しい時間でもあるので、1回1回充実した議論で次につなげたい。段階を踏むのが2回しかない審議会であれば時間ももったいない。今年はどう仕方がない。

大川委員

実績報告を簡単に書きすぎていると感じます。読んだ人がわかりやすく成果と今後の取組を含めて実績報告の中に入れておけばそれなりに理解されます。それとあわせて質問項目があれば事前に質問できます。男性の育児休暇について、平成28年度は該当者がいなかったですが、平成29年度は66.7%の男性がとっています。ここにとらなかった人は何故取らなかったのか書き加えれば分かりやすいと思います。年に2回なので時間がたりません。事務局はもう少し報告書の中身を濃いものにして、事前に質問できるようにすべきです。

事務局

育児休業については事前に聞き取っています。平成29年度に子どもが生まれた男性職員は6人いて、4人が育児休業を取りました。文章に記載はしていませんが確認はしています。

大川委員

男性も取る権利があるのですから、他の2人はなぜ取れなかったのかまで報告してください。

事務局

希望がなかったと聞いていますが、バックグラウンドで何かあると思うのでそうします。

会長

【1. 主要施策ごとの実績について(2-1)ワーク・ライフ・バランスのための環境整備】で、仕事の担当を主・副にして主担当がいなくても業務が滞らないようにしている、朝のミーティングを確実にするなど、特徴的で新しい効果のある方法だと思います。人事課もワーク・ライフ・バランスを促進するためにどんなことをしたのか聞きたい。結果として男性の育児休業が66.7%となったのでしょうか。

副会長

男性の育児休業は女性と同じ日数取れるか知りたいです。

大川委員

障がい者の雇用率を分かれば教えて欲しい。

部長

分かり次第報告します。

巢之内委員

【主要施策（1－4）市の組織における男女共同参画の推進 基本方向②女性職員の能力発揮と管理職登用の推進】で主に議論しているのは女性の人数とか役割分担だと思います。女性の視点が加わることにより質がよくなったことがあると思いますが報告書では見えてきません。数字以外で、女性の視点ならではで上手くいったことや、女性が参加したことが質の向上に繋がっていることがあると思うので報告書に書いて欲しいです。例えば危機管理課なら、避難所運営で女性の視点で良くなったことなどです。

会長

人事課の回答で、5人以上の職員配置の中で女性職員の配置できなかった課はないということは、注目です。

事務局

全課で40ほどの課がありますが、5人以下の課は少ないです。

会長

それなら、かなりの前進ですね。5人以上の課で女性配置ができたことにより、どのような変化があったか、また、なぜ5人以下のところではできないのかも教えてください。

藤本委員

報告書が漠然としていて内容がわかりにくいです。会長からご指摘があったように表も変えていくと思いますが、主要な施策の実績報告の回答が前回と重複している内容があります。重複している内容でも、こうして見ると新たな情報に見えてしまっていて進んでいるのか、達成できているのか分かりません。報告書の表を作成するときに、前回も同じ内容でこの課は回答しているとか、回数を付け加えて欲しいです。回答には何々を行った、何々に努めたと書いてあるので、その効果、もしくはどのような効果が見込まれるのかも書いて欲しいです。【主要施策（3－1）配偶者などからのあらゆる暴力の防止と根絶】に、デートDV予防講座を小中学校の希望校で実施したと書いてあるが、四條畷市で初めての試みなのか、初めてなら学校での生徒たちの反響はどうだったか、それによる効果、子どもたちの行動がどう現れてきたのか、もしくは見込まれるものと知ってこの講座をしたのか、表で見られれば見やすいと思うので、次回作成の時に検討すべきです。

副会長

小中学校は公立ですか私立ですか。なぜ希望校だけにしたのですか。

藤本委員

全ての学校ではなくなぜ希望校だけなのですか。

事務局

公立です。予算の都合もあり全校ではなく希望校でした。生徒の反響は、親や教師から同じことを伝えても聞いてもらえないが、外部（NPO法人）からだど、子どもたちの向き合い方、話の取り方も違つたと報告を受けています。人権擁護委員会でも、そのような講座が出来ると聞いているので、予算が無くても今後広げていくことはできると思います。実施報告の聞き取りはすると思うが、継続か新規かを加えることはできます。少しの時間の中での修正は限界があります。

鹿海委員

実はこのデートDV予防講座を四條畷中学校で見学しました。生徒たちはとても集中して聞いていました。専門家の話で、子どもたちが真剣に聞いていて、反響もよかったですと思います。小学生には少し早いかと思っていましたが、早いうちから教育を受けることは大切で非常にいい取組みと思いました。人権擁護委員会でもDV予防講座は無料で出来ます。

岡本委員

例えば、【主要施策（1－4）市の組織における男女共同参画の推進 基本方向②女性職員の能力発揮と管理職登用の推進】で、企画調整課はモデル課に選定されたことで取組をした、保健センターは毎月所内会議を実施している、産業観光課は残業時間を減らしワーク・ライフ・バランスを考えたと書いてあり、とてもがんばっていると思いましたが、学校教育課は、「校長会、教頭会で指導した」という書き方が多く、指導してどうなったかを聞きたいです。学校がいくつもあり把握しづらいかもかもしれませんが、具体的な内容と方向性を書いてもらいたいと感じました。質問ですが、子育て支援や虐待防止活動について、例えばなないろネットなど市民団体が活動していると書いてあるが、四條畷市の中で、子育て支援や虐待防止に関わっている一般市民はどれだけいるのか聞きたいです。市でも子育て支援センターの方がグリーンホールに玩具を持ってきて、遊び方やお母さんの相談に乗ったりしています。とてもいいことです。市民の中にもそのようなことをしてがんばっている人がいるので、どれぐらいいるのか知りたいですし、そんな支援を増やしていけたらと思っています。次回でいいです。

事務局

できたら広げていきたいと思っています。

鹿海委員

【主要施策（1－1）子どもの時からの男女平等教育の推進 基本方向②就学時における男女平等教育の推進】に学校教育課が「学校において生徒指導を推進するとともに家庭及び地域と連携した取組を行った」とありますが、去年は、「取組を行う方向性を構築した」でしたので、明らかにステップアップしていると思いますが具体的にどのような内容になったのか聞きたいです。

事務局

質問を委員から聞いて、会長と事務局でどの課を次回の審議会で呼ぶか決めたいですがいいですか。

一同

異議なし。

副会長

【主要施策（3－6）複合的に困難を抱える人への支援 基本方向②性的マイノリティに対する支援】で、LGBT啓発講演会を開催し、600人参加したと書かれています。この講演会は北河内人権啓発推進協議会が開催でしたが、他の地域はLGBT講演会をしましたか？今年専門家に話を聞いて、とても大事な話だと思いました。もう少し浸透させるべきです。あと、外国人ルーツをもつ人への支援で、日本語教室は何か所で教えていますか？また、どういう人が教えていますか。日本語だけではいけないです。住んでる人は少ないですが、主な言語に例えば中国語、韓国語も必要です。

会長

他に聞きたいことはありますか。

上村委員

数値目標なので達成率を書くのはよいですが、対象となる人数（母数）を記載してほしいです。例えば男性の育児休業の66.7%について、これが60人中40人しか取れなかったのだと、20人が取っていないことになるので、何か問題があるのではないかという考え方もできます。待機児童も、平成29年は実績報告が11人と書いていますが、何人に対して11人なのでしょう。1000人中の11人と20人中の11人では意味合いが違ってくるので全体の数字を出してくれるとよく分かると思います。

瓜生委員

質問を出させてくださるのですね。

山崎委員

どの課に質問するか決めてもらわないといけませんね。

会長

1週間ぐらいで質問を出してもらい、そして皆さんにお伝えします。

巢之内委員

先ほどの育児休暇の何故33%の人は取らないかという件ですが、特に追及することではないと思います。事情で取りたくない人もいますし、取りたいのに取れないのは問題だと思いますが、希望しない人まで取りなさいという、そういった数字の追及の仕方はちょっと違うと思います。

事務局

数値で出していますので、取りたくない人の数値も反映していきます。

(2) その他

事務局

昨年度の第2回審議会の中で、男女川柳が10年目であり、今後どのようにしていくかご相談しました。その際、これまでの作品を見たいと声がありましたので今回過去10年の優秀作品を別紙の通りまとめました。

事務局

10年間の作品が出揃っていますので、差し支えなければ、事業の時に掲示してもよいかと思います。

会長

一般の部はかなり浸透していると思います。小中学生の部も身近なところで考えていい作品があります。毎回実施してくれる学校があるのですか。

事務局

校長会でお願いして、さらにその後各学校を回ってお願いします。

藤本委員

1つのことを10年間続けることはすごいことだと思います。川柳ではありませんが、俳句の方で何か残せないかと産業振興課に提案し、薄い冊子ですが「四條暇歳時記」というかたちで作ってくれました。今は薄くてもこれから分厚くなっていくと思いながら作っています。その俳句よりも長く実施していることになります。川柳も、入賞していなくても良い作品があったと思いますので、一般の部と小中学生の部と分け、「おもしろ川柳」などとしてそれらも残してはどうでしょう。四條暇歳時記は、小中全校、図書館等に置いています。残るものにして、みなさんの目にとまる場所に置くのも一つかと思います。

会長

どういったかたちで残せるかどうかですね。出来ないことはないですね。

鹿海委員

冊子にするには予算がいります。どうやって予算化しますか。

瓜生委員

予算の心配をされていますが、市の封筒は広告を載せていますので、そこに川柳を載せることができれば予算もかからず多くの人に見てもらえるのではないのでしょうか。

笹次委員

10年めで切りがよいので、チラシで広報に挟むと多くの市民の方の目に留まると思います。

会長

10年間の入選の中から、「あなたの好きな川柳を選んでください」などとしてチャンピオンを決める企画はどうでしょう。封筒の裏に印刷してあれば読めて楽しいです。

瓜生委員

全市民に見てもらえたらと思います。

部長

広報に挟むには、シルバーさんをお願いする必要があり、費用がかかります。

大川委員

シルバーの仕事も増えてよいのではないかと思います。思い切って広報にいれるのはそう難しくないのではないのでしょうか。予算もあまりかかりません。検討して下さい。

部長

検討します。

会長

人権コーナーに男女共同参画川柳コーナーを折に触れ入れてはどうでしょうか。

鹿海委員

広報紙のパラパラメッセージのコーナーに川柳を入れてもらってはどうか。

山崎委員

包括センターで月1回集まりがあり、標語があまりに集まらないので広報に書いて下さいと言いましたが、なかなか書いてくれませんでした。少しの文章でも時間がかかりますが、チラシを挟むより広報に記載の方が見やすくよいと思います。

事務局

次回審議会のお知らせをする際に、質問受付の案内をいたします。

また、職員に男女共同参画のアンケートを取っていますので、次回審議会で概要を報告します。

会長

宿題が多いですが、よろしくお願ひします。本日はこれで終了します。